

# 第10回 3月講座に関する本のリスト



## 【近年の主な児童文学賞の受賞作品（日本国内）】

### ★講談社絵本賞

- 『ボタ山であそんだころ』 (2015年 石川えりこ)
- 『オルゴールのくるくるちゃん』 (2016年 こみねゆら)
- 『大坂城 絵で見る日本の城づくり』 (2017年 青山邦彦)
- 『へろへろおじさん』 (2018年 佐々木マキ)
- 『つくえはつくえ』 (2019年 五味太郎)
- 『なまえのないねこ』 (2020年 竹下文子文/町田尚子絵)
- 『さくらの谷』 (2021年 富安陽子/松成真理子絵)
- 『海のアトリエ』 (2022年 堀川理万子)

### ★講談社絵本新人賞

- 『ピアノ』 (2016年 はまぎしかなえ)
- 『いっぺんやってみたかってん』 (2017年 はっとりひろき)
- 『まよなかのせおよぎ』 (2018年 近藤未奈)
- 『にんじゃいぬタロー』 (2019年 渡辺陽子)
- 『タコとだいこん』 (2021年 伊佐久美)
- 『まよいぎょうぎ』 (2022年 玉田美知子)

### ★けんぶち絵本の里大賞

- 『くろくんとちいさいしろくん』 (2018年 なかやみわ)
- 『おしっこちょっぴりもれたろう』 (2019年 ヨシタケシンスケ)
- 『ころべばいいのに』 (2020年 ヨシタケシンスケ)
- 『ねぐせのしくみ』 (2021年 ヨシタケシンスケ)
- 『あきらがあげてあげるから』 (2022年 ヨシタケシンスケ)

### ★野間児童文芸賞

- 『盆まねき』 (2011年 富安陽子)
- 『世界の果ての魔女学校』 (2012年 石崎洋司)
- 『ルドルフとスノーホワイト』 (2013年 齊藤洋)
- 『あたらしい子がきて』 (2014年 岩瀬成子)
- 『うたうとは小さいのちひろいあげ』 (2015年 村上しいこ)
- 『岬のマヨイガ』 (2016年 柏葉幸子)
- 『神隠しの教室』 (2017年 山本悦子)
- 『満月の娘たち』 (2018年 安東みきえ)
- 『ゆかいな床井くん』 (2019年 戸森しるこ)
- 『朔と新』 (2020年 いとらみく)
- 『わたし、パリにいったの』 (2021年 高橋方子)
- 『たぶんみんなは知らないこと』 (2022年 福田隆浩)

### ★小学館児童出版文化賞

- 『こんびら狗』 (2018年 今井恭子)
- 『大名行列』 (2018年 シゲリカツヒコ)
- 『ある晴れた夏の朝』 (2019年 小手鞠るい)
- 『わたしといろんなねこ』 (2019年 おくはらゆめ)
- 『くろいの』 (2019年 田中清代)
- 『さわるめいろ』 シリーズ (2020年 村山純子)
- 『昔はおれと同年だった田中さんと友情』 (2020年 柳月美智子)
- 『うしとざん』 (2021年 高島那生)
- 『そらのことばが降ってくる』 (2022年 高柳克弘)

### ★日本絵本賞大賞

- 『ふしぎなともだち』 (2014年 たじまゆきひこ)
- 『30000 このすいか』 (2015年 あきびんご)
- 『きょうはそらにまるいつき』 (2016年 荒井良二)
- 『わくせいキャベジ動物図鑑』 (2017年 tupera tupera)
- 『もぐらはすごい』 (2018年 アヤ井アキコ作/川田伸一郎監修)
- 『くろいの』 (2019年 田中清代)
- 『たまごのはなし』 (2021年 しおたにまみこ)

### ★日本絵本賞

- 『大根はエライ』 (2018年 久住昌之)
- 『ためきの花よめ道中』 (2018年 最上一平作/町田尚子絵)
- 『なまえのないねこ』 (2019年 竹下文子文/町田尚子絵)
- 『金の鳥：ブルガリアのむかしばなし』 (2019年 八百板洋子作/さかたきよこ絵)
- 『ぱんつさん』 (2019年 たなかひかる)
- 『こどもたちはまっている』 (2020年 荒井良二)
- 『このかみなあに？ トイレットペーパーのはなし』 (2020年 谷内つねお)
- 『ぼくがふえをふいたら』 (2020年 阿部海太)
- 『おすしやさんにいらっしやい！生きものが食べものになるまで』 (2021年 文/おかだだいすけ、写真/遠藤宏)
- 『はるのひ』 (2021年 /小池アミイゴ)

### ★坪田譲治文学賞

- 『クリオネのしっぽ』 (2014年 長崎夏海)
- 『いとこの森の家』 (2015年 東直子)
- 『Masato』 (2016年 岩城けい)
- 『キジムナーkids』 (2017年 上原正三)
- 『ペンギンは空を見上げる』 (2018年 八重野統摩)
- 『あららのはたけ』 (2019年 村中季衣)
- 『もうひとつの曲がり角』 (2020年 岩瀬成子)
- 『旅する練習』 (2021年 乗代雄介)

### ★産経児童出版文化賞大賞

- 『それでも「ふるさと」』 (2019年 豊田直巳)
- 『徳治郎とボク』 (2020年 花形みつる)
- 『やとのいえ』 (2021年 八尾慶次)
- 『こそあどの森のおとなたちが子どもだったころ』 (2022年 岡田淳)

### ★日本児童文学者協会賞

- 『こんびら狗』 (2018年 今井恭子)
- 『むこう岸』 (2019年 安田夏菜)
- 『アドリブ』 (2020年 佐藤まどか)
- 『拝啓パンクスノットデッドさま』 (2021年 石川宏千花)
- 『万葉と令和をつなぐアキアカネ』 (2021年 山口進)
- 『夜叉神川』 (2022年 安東みきえ)
- 『オイモはときどきいなくなる』 (2022年 田中哲弥)